

別紙 体験談一覧表

体験談聴取録番号	調査メモ頁	場所	原子雲、「黒い雨」、落下物等に関する記載	放射線の影響に関する記載	備考(供述者等)
I. 爆心地より1km以内(殆ど全滅し調査困難なり)					
1	23	三滝天神山(北西3km)	光ってから1時間を経っていたら、大きな痛いような黒い雨にあう。2時間も降り続いた。		女子(30歳くらい)
2	32	西引御堂町(北西0.8km)	川辺に来たとき大雨大嵐、火事は大火となる。雨は粒の大きい痛いような荒い雨で、鉄路に沿い高須附近に行くまで降っていた。穢れて黒く油のように見えた。男女とも火傷で皮剥け、血塗れでほとんど丸裸、真っ黒い油のようなものを浴びて泣き叫び逃げた。		〃氏(50歳くらい)談
3	14	小網町(西0.8km)	大粒の雷雨のごときものが1時間くらい降った。白い服が紺になるくらいだった。		某氏
	15	西新町(向地)(西0.8km)	光って1時間余り後、大粒の雨になった。ばらばらと普通の雨だった。		現在の土橋電停南あたり。
4	15	河原町西組(南西0.8km)	20~30分経って、30分以上小1時間も痛いほどの大粒の雨が抜ける程降る。白いものが黒くなり、川に流れた水は真黒という泥雨降り、そのあとは白い大雨だった。油をまいたという人もいた。		羽田別荘前某氏
5	70	薬研堀(東南東1km未満)	比治山に逃げたが雨は降らなかった		〃氏談
6	70-71	薬研堀23(南東約1km)	雨降らぬ。		〃氏談
II. 爆心地より1km~2km(2km以内の人は大概死亡し生存者少し)					
7	5	横川駅(北1.8km)	1時間以上後の午前中ひょうの如き大粒の雨となり夕立の如く2~3時間降り続く。		駅員談
8	6	観音橋(南西1.6km)	観音橋辺りよりしよぼしよぼ雨、泥雨にて着ている物真っ黒になった。洗ったらきれい。後は白雨になっただろう。		〃氏談
	14	住吉橋西(南西1.2km)	雨が数分ばらばらと降った。		住吉橋西は、北側が河原町、南側が舟入幸町。
	14	舟入病院前(南西1.5km)	黒い雨がバラバラと20~30分降った。		病院は舟入幸町。
	15	舟入本町(南西1.5km)	光ってから30分後、西風強く、夕立の雨が5~10分、ザーッと降った。		
	15	舟入幸町中組(南西1.5km)	夕立雲のように黒い雲が昇っていた。南西風が強かった。雨は降らなかった。		
	16	舟入仲町(南西1.3km)	空を向いたら青とも黒とも分からぬ煙だった。30分後に大粒の雨が半分降った。黒か白か不明。雷鳴も聞いた。山へ上がってくるまで大雨小雨止んだり降ったりした。		〃妻談
10	31	横川橋(北1.4km)	約1時間後から1時間くらい夕立のようなざーとした雨が降った。午後3時半から午後4時ころまで降った。黒い雨かどうか、気が付かぬ。		広瀬北町〃氏談 〃氏談
11	34	河原町(南西1.3km)	住吉橋に逃げるとき、油のような雨がポタリポタリ落ちた。(数分間)		〃氏談
	93	広島県庁(南南西1km)	光って1時間経つか経たないかで少し曇って雨が降りそうになった(後にははっきり記憶せず。)		〃事務官談
11*		荒神橋付近(東1.9km)	雨の記載なし。		
12	45-46	猿猴橋(東1.8km)	雨が降った。ザーザーと横降りに白い雨が降った。		猿猴橋上在の人(〃氏)談
13	47	大手町8丁目(南1.2km)	雨は降らず、1時間半後に火災。		〃氏談
14	47	下水主町(南1.3km)	住吉橋あたりで10時ころ、雨が降った。赤黒い雨で顔がブツブツ状のあばたのように汚れた。		〃氏談
15	48	平塚町(南東1.3km)	雨は降らなかった。		〃談

16	50	幟町153 (東北東1.2km)	竜巻猛烈で木をつかまえ、かがむ、6尺大のトタン板や瓦が空の暗くなるほど舞い飛び、同時に大粒のおそろしいような大雨が降った。 風向きは色々変わり、火の燃える方から来た		〃 氏談
17	50	下幟町 (東1.1km)	焼けた当時、雨がパラパラと落ちた		〃 氏談
	14	鉄砲町 (東1km)	雨が降った。		
18	50-51	下柳町 (東1.3km)	光ってから1時間か2時間後にボウボウ燃えている最中に雨がちよつと降った		〃 氏談
19	54	幟町本通広島製菓 (東1.2km)	雨は降っていない		広島製菓会社・ 〃 氏談
20	54-55	天満本通 (西1.1km)	稲妻よりもひどい光がきた。何か暖かいものをぐつと吸ったと思ったらガラガラと家が崩れ、辺りが真っ暗になった。土煙が晴れて起き上がってみると、広島全市中見通せるのに驚いた。8時50分ごろ付近が燃えてきたので逃げた。		広島製菓会社・ 〃 氏談
20	55	福島橋 (西1.1km)	福島川にきた頃にシャーシャーと雨が降った。雨滴が川面でパツパツと油のように光って広がった。しばらくして、ゴロゴロと本降りになった。		同上
	1	天満町 (西1.2km)	20~30分後ゴロゴロ音聞く。その後本雨少しあり。中雨(土色、油、ねばり気あり、衣類についたら容易にとれないような)が20~30分位降り続く		女子(30歳くらい)
	14	西天満町 (西北西1.5km)	5分後くらいから降り出した。大粒の雨が3時間くらい降った。はじめは泥雨、後に普通の雨になった。		
	14	福島町 (西2km)	10分(?)後位から油をまいたような雨が降った。顔も衣類も真黒になった。2時間くらい後に白い夕立になり、4時間くらい降った。		
	49	西観音町 (南西1.6km)	約30分後、ほこりを含んだ大粒の雨がザーザー30分も降った。 西南西からの風		中学校(内職員)談
21	57	広島駅 (東2km)	雨は降らなかった	1週間ぶりに血便の出た者、髪を抜けた者が4、5日続いた。静養した。	広島駅 〃 助役談
	14	荒神町 (東2km)	雨は降らなかった。		
22	57-59	大塚町・栄橋 (北東1.7km)	その日、雨は降らず、4日位後に降った		町内会長・〃 氏談
23	59-60	幟町 (北東1.5km)	午後過ぎ、雨は流すほどよく降った。大粒の雨が1時間以上降ったが、夕方には上がった。冷えて、寒くなった。泥雨のような感じではなかった。		〃 氏談
24	60	通信病院 (北北東1.5km)	午後1時頃、相当な大雨が降り、30から40分位続いた。泥雨のようではなかった。		事務室・〃 氏談
	14	白島 (北北東1.4km)	油でもまいたような雨が、夕立のように1時間くらい降った。		警防団
25	61	西白島町 (北1.3km)	火事の後物凄い大雨、午後裸身を痛いくらいに叩く雨に打たれた。1回降って、少し小降りになり、又降り30分くらい続いたと思う。		〃 氏談
26	61	西白島町内会 (北北東1.5km)	昼から雨が降った。1時間くらいの雨夕立。		事務員談
27	62	楠木町1丁目 (北1.3km)	火が激しく、河中にもおれず、大芝まで舟で逃げた。大芝で雨がザーッと降り止み又降った。		〃 氏談
28	62	楠木町1丁目 (北1.6km)	午前11時ころから大雨2回30分ずつ降る。大火が消えるかと思うくらいの雨が降った。 風はすこぶる強く、西に東に北に巡回した。		〃 氏談
29	63	二葉の里鶴羽根神社 (北東1.8km)	天を衝くような壮大な入道雲があがった。 光ってから1時間くらい後、パラパラとちよつと大きい雨が降った。		〃 談
30	70	比治山共同墓地 (南東1.9km)	南西風、雨なし		三河町 〃 住職談
31	69	千田町三丁目 (南1.8km)	南風のため、この辺りは延焼を免れる。雨は降らず。		町内会長 〃 氏談
	84	千田町3丁目 (南2km)	雨降らず	39.5度の発熱10日間。入院1か月でようやく治る。右腕先にできもの。3日間血腫出る。	〃 氏談

32	72	東警察署 (東南東1.2km)	雨を知らず。 東練兵場へ行く途中正午前荒神橋に相当竜巻あり、東練兵場東北部でドラム缶に引火し、午後1時ころもの凄い竜巻、ドラム缶が宙に巻き上げられた。午後2時ころ、栄橋で大竜巻で6人も巻き上げられた。		氏談
32	73	京橋東詰 (東1.8km)	10時頃大粒の雨バラバラ。京橋川雨降った。2回くらい		氏談
33	77-78	二葉の里饒津神社 (北東1.8km)	光ってから1時間くらいか、時雨程度の雨が降った。風は東寄りの南風。	一夜後に両眼鼻口腫れ上がる。救護所に行ったとき生命保証はできぬといわれた。	東照宮・氏談
34	85-86	皆実町1丁目 (南東1.9km)	雨降らぬ 風(東より南に向かって延焼)		町内会長氏談
35	86-87	柳橋東詰 (東南東1.5km)	旋風が激しく京橋川で浪が荒れ乗った小舟がクルクル舞った。 雨全然降らず		氏談 氏妻談
	87	稲荷町 (東1.5km)	雨、正午すぎにバラバラと降った(三瀧の方で10時過ぎにものすごい雨)。 竜巻は見えていない。		氏談
36		打越町 (北西1.9km)	光ってから1時間も経った後、夕立のような大雨で、雷が爆発と同じような音をして鳴った。壕に溜まった雨水真っ黒く、黒い雨で池の水も真っ黒になった。雨は午後3~4時まで降った。痛いほど大粒で、丸裸で大怪我の避難民数十名皆「寒い寒い」と言って入ってきた。風は北風が続いた。	池の鯉10匹全滅した。 南瓜はその後新芽は出たが実がならぬ。甘薯芋も太らない。	氏談
37		山手町 (北西2.1km)	雨は光ってから半時間後に約1時間ザーザー夕立のように降り、この短時間に雨水は2日3日も降った雨のように2尺くらいも溜まった。当時北東風であった。	山の松は一時赤くなったが(1週間以上)、新芽がでて元に服した。黍などは枯れてしまった。	氏談
Ⅲ. 爆心地より2km以上					
A. 広島北方地区					
38		三滝橋付近 (北北西2.2km)	9時30分~10時大粒の猛烈な雨で川水も溜まり水も黒くなった。午頃止んだ。	川の魚浮いた。	氏談
39	73	三滝町(北2.5km)~ 福島町(西1.7km)	光ってから約40分で雨が降り出した。己斐電車鉄橋福島町電車内で雨宿りをしていたところ、雹のような大雨が3時間降った。		氏談
40	78-79	三篠町樋2丁目 (北2.2km)	光って1時間くらい後に大雨。山火事消えるほどだった。午後3時過ぎまで降る(黒色か不明)。 アスファルト道を蛇がのぼるように川上の方へ火が這っていった。はじめ北風、光ってすぐ後、西の風に変わる。近所の薬屋に火が着き午後2時ころ焼失。	下痢を日に何遍も下したがよくなった。	町内会長氏談
41	79	三篠本町3丁目 (北2.6km)	光って午後降った。ひどく降ったが火事は消えなかった。2時間位降り、午後3時4時頃やんだ(黒いか不明) 風は主に北西吹いたためこの方面焼けず。焼けると同時に風強くなった。		氏談
42	79-80	三篠本町4丁目 (北2.9km)	光って少し後ドンと音、ほこりで一時真っ暗になる。一尺先も見えない。いなげな雲おそろしい形をして立つ。 瞬間に薬屋から出火、焼け出して1時間経ってから(9時30分頃)曇ったようになって雨、大きな雨(黒色か不明)。		氏談
43	80	祇園町字長束 (北3.4km)	光ってから1時間位後に雨降る。ぼつぼつ普通の雨。30分か1時間降り午すぎに黒い雨(煤まじり)服など黒く付く。やや大粒。2、3時間も降った。午後3、4時頃やんだ。		氏談
44	81	祇園町字長束 (北端) (北3.9km)	光って1時間後、夕立来るとみていたがこちらはバラバラとした雨が5分か10分位降った。		氏談
45	81	祇園派出所 (北5km)	ぴーっと光る。2、3分後アリアと思い外に出たら、黒い入道雲立つ。光って1時間後雨10分位バラバラ降る。		氏談 氏談
46	82	中須大町(大須 国民学校) (北7km)	ピカーッと光った後、広島の方に煙のぼっており、爆風に押されて雲が北の方へ非常に速く走っていた。 キノコ雲は濃い乳色か綿菓子のような色でもくもくと立ち昇るのが30分以上続き、次第に高く大きくなり、雲頂仰角60度に達す。夏の夕立の時の黒雲のように空が真っ暗になったが、雨は降らぬ。安川の水も真っ黒く濁った。		氏談 氏談
47	67	山本国民学校 (北4.8km)	光った後、雨は12時ころ夕立がザーッと、10分位きた。 広島空は西の方が黒く、入道雲は初めは白でまわりは茶色中は黒だった。		氏談
	4	祇園町(北5km)	雷ごろごろ鳴って光の後2時間位経ってバラバラ雨が降った。久地~安の山手にはかなり雨が降った模様。		

48	66	安佐郡原村西原 (北北東5.6km)	大きな入道雲、黄色のような桃色のような気味の悪い雲が広がった。 光ったあと、雨粒降ったくらい(2つ3つバラバラと)		氏談
48	66	長束平原 (北4km)	長塚の平原は相当降った。		同上
49	4	古市駅 (北5.9km)	橙色の煙が凄まじい勢いで立ち昇り、雲頭西方に流れた。しばらくして火の手見る。		駅員談
50	4	古市 (北7km)	真っ赤な雲がうようよ湧いて雨が降ったが、入道雲が西方へ流れた。その方の山手では雨が降った模様。		農業会 氏談
51	3	八木村 (北北東11km)	「ピカーッと目も眩む光、白煙松茸状に立ち昇る。(入道雲やがて黒くなり西へ流れ動き立雲となる。)。広島の方に爆発後黒い筋が幾筋か立ち上っているように見えた。八木方面は降らなかった。		農業会 氏談
52	2	可部 (北北東14km)	光った方向を見ると、黄赤白の混合した煙がムクムクと昇り(高さ推定5km)、中央から周りに南瓜状に吹き出しながら昇騰、煙の上部はやがて風に吹き西方に流れ消えた。それから火災のため雲が一带に立ち広がった。		駅員談
	95	亀山村 (北北東15km)	敵機の落としたもの(ゾンデ)3個、亀山村役場に落ちた。		
53		王生町 (北北東34km)			氏談 場所不明・地図外
54	64	牛田町安楽寺 (北東2.2km)	光って2時間後くらいに、雨がほんのちよっとバラバラと降った 北風が続いたが、火災が生じた後、2、3回強い風が吹いた。		氏談
55	64-65	牛田町丹生区 (北東2.3km)	10時ころ夕立模様で、30分、相当降った(大降りではなく、やや粒が軽く、バラバラと)		氏談
56	66	牛田町新田区 (北北東3km)	牛田山あたりでは、ぱらっと雨がきた程度。		氏談
B. 東方地区					
57	74	西愛宕町 (東北東2.5km)	下敷きになった隣人の子を救出し、尾長派出所へ向かったが雨は降っていないなかった。		氏談
	71	東蟹屋町 (東2.6km)	雨にはあわなかった。息子は、己斐で雨にあった(大夕立)		氏談
	76	尾長町 (東北東2.5km)		20日ばかり血便	氏談
58	74-75	片河町(現・尾長東2丁目) (東北東3.5km)	4~5分後に見ると大本營、福屋のある都心部に真っ黒な大煙が上がった。南風が西風、北風、東風と変転し延焼した。 当日付近は雨は降っていない		氏談
59	75	矢賀町 (東北東3.9km)	光って火の粉散るまっ黒な煙立つ。 焦茶を中にもものすごい雲がぐるぐる舞うように上る。		氏談
60	77	尾長町山根(東北東2.5km)	光見ず、向こうに入道雲見る。 雨降らず。		氏談
	76	中山村 (東北東4km)	煙がわいわいわいわい空に上ってきた。		氏談
61	92-93	向洋駅(東方5.3km)	広島の上に一升瓶を逆にしたような形の、真っ赤や黒みがかかった火焰のような煙が立ち、それが崩れて、立った黒煙ものすごい勢いで昇っていった。爆風が来てほごりがもうもうと立ち、なかなかやまなかった。 雨降らず(己斐方面は豪雨)		氏談
62	92	海田市駅 (東7.5km)	雷が聞こえたが、雨は全然降らず。 南西より北東に落下傘三つ流れてゆくのを見た。	中学1年生の長男が22日ごろに頭髪脱毛し、29日死亡した(口内炎、血便)。 檀の大木が枯れた。庭の池の鯉が皆死んだ例あり。	氏談
62'	95	瀬野駅 (東13km)	大阪へ行く汽車のなかで、マグネシウムをたいたような光を受け頬が熱かった。 黒煙がもくもくと昇り、終いには白くなった。		大尉談

62		賀茂郡下黒瀬町 (東18km)	光って30秒後乃至1分後に鈍い爆風が来た。異様な雲が浮かびムクムク次第に膨れて20分後にきれいな外回りの淡紅色で鮮やかにくぎれた雲をなす。さらに30分後から真下に真っ白の煙上る。これは区切れずに次々とわき出るように午近くまで出て広がる。夕刻まで残った。		一 氏談 地図外
C. 西方地区					
9	18-19	山手-己斐 (北西2km-西2.4km)	光ってから1時間余り後、山手から己斐まで黒い大雨がザーザー降り、雷が鳴った。身体が汚れた。己斐辺りからは白い雨になった。15分か20分くらい。	嘔吐した。38度-39度の高熱が約1週間後に出た。頭髪の色が薄くなった。妻は4日後死亡した。	古江住: 一 氏談
63	11	己斐駅 (西2.5km)	30分~一時間過ぎて土砂降りの大雨。1時間も続く。黒い煤のような雨だった。		駅長談
	7	福島町(西1.7km) ~己斐・高須(西3.2km) ~古江(南南西4.1km)	福島町辺りより小さい雨。黒かった。己斐辺りでじゃんじゃん大雨泥雨。高須辺りから白い雨になった。		
	29	己斐小学校前 (北西2.8km)	光ってから20分くらいから降り始める。黒い雨、大雨降る。夕方ころ上がった。	植木、枯れて痛む。	
64	10	己斐埜 (北西3km)	光って20分後雨ポツポツ来る。それから大立で16~17時迄降った。谷川大出水。山火事は大雨で消えた。通る人の顔は真っ黒。黒い水が流れた。	桃山芋、サツマイモ、ポーフラ、南天、葉が皆枯れた。	一 氏談
65	21-22	己斐上町 (北西2.5km)	光ってから約1時間後からザーザー篠つく雨が3時間くらい降り続いた。イカ墨のような真っ黒い水が流れた。川は大出水。ゴロゴロ雷も聞こえた。雨が降る最中、大茶臼山の方からがれき、紙切れ、焼けた板切れなど降ってきた。	近所に、家の中にいたのに下痢して亡くなった人がいる。池や田の鯉が全滅した。木犀や檜などの光の当たったところが枯れた。唐キビ、キビの穂が出始めのものは全滅したが、稲穂はよくできたという人がいる。	町内会長 一 氏談
66	29-30	己斐上町八組 (北西2.8km)	川に近來ない大雨の出水が出た。この間の台風(枕崎台風)以上。川の水は、墨を擦ったとおりの真っ黒い水だった。橋畔に雨粒が付いて、シミになった。匂うと油の臭いがした。油のような雨が、1軒の火事を消し止めた。それから後に降り出した粗い雨が40分降り、その後土砂降り2時間以上続いた。衣類にかかったときには黒くなかった。		一 氏談
67	13	高須 (西3.2km)	光って1時間以上経ってから雨が降り出した。30分くらい泥雨がじゃんじゃん降り、衣服も顔も汚れた。井口付近まで降ったようだ。	池の鯉が死んだ。	高須農業会出張所 所員談
68	13	古江 (西4km)	火の玉炸裂し、黒煙竜巻のように昇る。光って20~30分後パラパラと数分黒い泥雨降り、その後何分か普通の雨降る。敵が毒でも撒いたと思った。		古江広島農業会談
8	6	古江 (南南西4km)	古江に帰ってもまだ降っていたから、1時間以上降った。		一 氏談
69	20	草津町 (西5.1km)	9時頃から30分間ほど大粒の雨がパラパラ降った。夕立雨のようだった。ゴロゴロ雷も鳴った。白い着物が黒く緋になるくらいだった。		一 氏談
70	20	草津南町 (西5.5km)	20~30分後、黒雲が上方に来て、ゴロゴロ雷鳴が聞こえた。パラパラと粗粒の黒雨が3~5分降り、白いシャツにカビが生えたように汚れた。		事務職員談
	28	草津南町 (西南西5km)	夕立のような黒い土雨がざーっと、3、40分間降った。	下痢	一 氏談
71	23-24	草津南町北小山 の上 (西南西5km)	己斐の方に入道雲のような黒雲見えた。		一 氏談
72	23-24	草津南冲海上 (西南西5km)	光って顔熱し、火の玉、パーンと音がしたと同時に下の方の部分が黒煙になり、上の方の火の玉の部分が拡がって散乱白い煙になった。30分くらい後に己斐の方の空が雨雲で真っ黒に見えた。		一 氏談
73	24	草津南町西原ヶ 尻踏切 (西南西6km)	光ってから1時間以内に1分くらい雨が降った。黒か白か不明。		JR新ノ口駅の東の 踏切 番人談
74	27	井ノ口村字浜 (西南西7km)	雨パラパラ1粒2粒来ただけ。		一 氏談
75	10	実践女学校前 (西8km)	赤い火の玉が見え、広がった。雨は降らぬ。		某氏談
76	46	五日市町皆賀 (西8km)	雨は降っていない。 紙(八丁堀の住友銀行の封筒)や灰などが落ちてきた。		一 氏談

76	53	五日市駅 (西南西8.5km)	雨は降らず。 八幡川の水が黒くなった		駅員談
	55	五日市 (南西8.5km)	灰、埃が落ちた。市中の会社、銀行の封筒などが田の中へ落ちた		広島製菓会社・ 一嬢談
	45	五日市町字地毛 (西9km)	焼けておらぬ、泥まみれ、ゴミだらけの名刺、紙片、ソギ板が飛んでくる。北東の鈴が峰の方向が暗くなっていたが、この辺は雨は降っていない。		
77	42	五日市北方観音 村坪井 (西10km)	石内より広島の方にかけて黒雲立ったが、雨は降っていない。しかし、黒く軽い、細かい泥埃が払い落とすくらいひどく飛んできた。		井街謙医学博士談
77	43	草津(南西4.5km)	歩いて行く中で、11時30分から12時、ちょうど前草津辺りで、パラパラと雨が降った。		同上
77	43	己斐(西2.4km) ～ 三滝(北2.5km)	猛烈な土砂降り(黒く)、横川へきたときはやんでいた。		同上
77	44				同上
78	94	廿日市駅 (西南西12km)	ピカッと光った。スパークかと思いきや晴れた前方の空を見ると灰色の大きな雲が見えたと思う間もなく(光ってから30秒経過)ドーンと音がして爆風がきた。相当埃が立った。 雨降らぬ。雷鳴の如きもの聞こえた。		駅長一氏談 助役一氏談
79	8-9	宮島駅 (南西17km)	パーツと光ったので室外に出ると白雲が真ん丸の火の玉の真っ赤になったのを中心に渦巻き広がり出しており、その中心の火の玉の部は白雲になり天上高く昇った。火の玉部炸裂後周りの白い煙状の雲は高度3000mくらいを急速に波状をなして広がると見る間に爆風を受けた。		駅長談
	56	大野村役場 (南西20km)	雨の記載なし		
80	53	大野浦 (南西22-23km)	雨の記載なし		陸病下・一氏談
80	56	大野浦駅 (南西22-23km)	雨は降らなかった		一助役談
	95	大野陸軍病院 (南西23km)	広島のように真っ黒い煙が立ち、相当高くなり段々白くなった。		
81	51	玖波駅 (南西27km)	雨の記載なし		駅長談
82	52	玖波町役場 (南西27km)	雨の記載なし 入道雲の白いものが茸形に立ち上方で拡がった。		一助役談
83		敵島町役場 (南西17km)	物凄い大きな白い雲が上がっており、それから後一体に拡がった。		助役談
D. 南方方面					
84	17	南観音町 (南西2.5km)	光ってから小1時間後、五間道路十字路の南側で非常に大粒の相当強い雨にあった。雨は全部で1時間も続いたが、初めの20-30分は非常に大粒の雨だった。 道路が黒くなった。煤煙の色ようだった。 己斐あたりはその時間に土砂降りだった。		一氏談
	12	観音 (南西2.3km)	泥水の如き大雨(雷ひょうの如き)。顔も泥まみれ。真っ黒い油の混ざったような。少し洗っても落ちない。3-4分続き、その後大粒の雨が小1時間も降った。北西風が強く吹いた。		
	16	南観音町 十字路 (南西2.5km)	光ってから1時間くらい後、大粒の黒い雨が10分くらい降った。		
	49	南観音町 (南西2km)	雨ふらず。		一氏談
	48	吉島監獄 (南2km)	雨は降らなかった。		
	69	吉島町派出所 (南南西2km)	雨の記載なし。		
85	33	江波港町 (南西2.9km)	雨は降らないが、雷鳴を聞いた。光って30分くらい後に爆心の方向に黒煙が出て、方々に火の手見え1時間後には大火災になった。		町内会長一氏談
	14	江波電車終点 (南西2.7km)	雨がタ立のように時々ぱらぱらと1時間くらい続いた。		今の舟入南電停
	16	舟入国民学校 横、市女前 (南西2.1km)	雨は降らなかった。		舟入南町

86		江波山広島気象台 (南西5km)	雨の記載なし。		北技手手記
87		本川渡船 (南南西2.4km)	雨の記載なし。		——氏談(気象技術)
88	84-86	専売局 (南南東2.3km)	雨降らぬ		——文書課長談
89		皆実町3丁目 (南南東2.4km)	雨の記載なし。		宇田技師手記
90	84	宇品本通8丁目 (南3.7km)	爆風, 砂を顔にぶつけられたように感じた。		交番——氏談
91		宇品7丁目 (南南東4.5km)	外へ出て市の上空を見ると松茸状の一条の巨大な白煙及び数箇所の火災を認めた。		部員談
92	84	宇品電車終点 (南東4.6km)	入道雲, 上は白, 中は黄, 下は赤黒の雲が立った。 雨降らず		——氏談
93		江田島兵学校 (南南東20km) ～ 呉(南東20km)	雨の記載なし。		
E. 北西山地区					
94	83	安村相田村役場 (北8.5km)	(爆弾炸裂後)外で見ると東方と武田山上に黒煙がわ一つともくもく昇る。黒煙は西に向けて靡いて動いた。 しばらくして黒雲空一面になり、光ってから1時間位経って雨がタ立のようにザーザー降り(伴の方はひどかったと思われる)。大粒の雨が30分位も降った。相当出水があった。安川の水が墨のようになり2日間位黒かった。	魚が死んだ話を聞く。 田草取りの女の人が軽い火傷をした。熱いと感じた位。	——氏談
	3	安村(北9km)	黒味があった雨が、光った30～40分後に安村の山手に降った。		農業会——氏談
	3	緑井村(北8km)	30分位後に雷鳴驟雨、安村武田山の山手より久地方面にかけて黒い雨が降る。		
95	83	伴村細坂 (北西9km)	雨は1時間後くらいから3～4時間大降り、午後3時まで続く。川水黒くなる。 蚊帳が降ってきて裏山の木にかかった。		
96	39-40	伴村字大塚 (北西7km)	広島の方に茸がはえたような黄色い雲が出た。 光ってから15分くらいしてからポツポツ降り出し、黒い雨が随分タ立のように降った。大粒の雨、大雷雨、谷川へ真っ黒い水がごろ流れて真っ白い泡を立てた。稲田が真っ黒になり、紙片、トタン板も飛んできて雨と一緒に落ちた。	己斐の裏山に行っていた人の話では、田で草取りをして寝付いて死んだ人や、食欲がなく下痢で脱力したようにブラブラしていた人が大分いたり、20日くらいたって火傷のようになった人もいる。 鮠、鰻など魚はみんな死んで流れた。蟹、蝦は生きている。稲の肥効の切れるはずのが色も落とさず、青く活気がある。台風がなければ豊作の見込で、黒水が肥効を及ぼしたのだろう。	農業会——氏談
97	38	己斐峠絶頂附近 (北西4.9km)	光ってからパラパラ、3～4丁歩き、土砂降り小1時間続く。墨を溶かしたような黒い川水だった。黒い雨は15時ころまで降り続いた。笹や萱など真っ黒になり、白衣の人が黒くなり煤をかむようになった。 綿やソギ板、紙片、トタン板など沢山降ってきた。光ってから小1時間後雨の降る最中に落ちてきた。	川のウナギなど相当死んだらしい。	——氏談
98	36	石内村平岩 (西北西7km)	ちよつと降った。		——氏(妻子)談 ——氏談
98	38-39	石内村平岩 (西北西7km)	光って真っ黒い煙立ち、綿を千切ったような雲が立った。光ってから小1時間後ポチポチ15時まで続く。真っ黒い水が出る。黒雲北の方へ動いていった。雷がごろごろ鳴った。	螟虫がいなくなった。	
99	36	石内村原田三叉路 (北西6km)	光ってから30分くら経ってぼつぼつ黒い雨が降り出し1時間も続き、黒い水が随分流れた。11時ころ12時ころどどん降り、13時ころやんだ。始め黒いゴミ雨、後では白い雨が降った。黒い雨が降る前からトタン板、ソギ板、紙片が落ちた。		——氏(妻子)談 ——氏談
	36	石内村神原 (北西9km)	雨降らぬ。		——氏(妻子)談 ——氏談
	39	沖(西7.6km)	降ったようだ。		

	39	佐々利(笹利) (北西8.4km)	降っていない。		
100	89	古田町田方 (西南西5km)	光って顔が温く感じた。そして前方に黒い煙が立ち、光った30~40秒後に聞いたこともない大きな音がし、東から風がきて帽子が吹き飛び、家の障子、戸が破壊され、屋根瓦吹きあがり天井が跳ね上がった。 夕立が来るかと思ったら、雨が11時ごろから降り出した。モビール油を溶いたような黒い雨が垂れ落ち川の水も黒くなった。南南東の風で黒煙は北へ動いた。灰を振りまいたように黒いものが南瓜などにつきなかなか取れなかった。牛革も相当黒くなった。		氏談
101	35	古田町高田 (西5.5km)	光ってから20分位して雨が降った。小さい灰みたいな黒くなるような雨が1時間くらいは続いた。		
102	35	古田町山田 (西北西5.5km)	光ってから1時間ばかりしてえらい大きな雨が降って1時間くらいも続いた。汚れた真っ黒い墨のような雨。煙は埃で、新聞紙の燃え付いた物や焼けた紙帳簿のような物が沢山落ちてきた。雨の前に飛んできた。雨が降った後に雷がちよっと鳴った。		氏談
103	89-90	草津町高井 (西8km)	光って10~20分してバラバラ時雨がきて頭の手ぬぐいもびしょ濡れ、30分くらいして草津の方からバリバリゴロゴロ雷鳴があった。 雨の降るときは山中の周りが真っ暗に曇った。田が黒くなり草を牛に食べさせるのを控えていた。 新聞キレ、綿キレ、50銭紙幣(焼けたもの)、郵便局本局、芸備銀行の紙、福屋のはがき、ソギ板など飛んできた。		氏談
104	90	石内村利松 (西7km)	光って1~2時間たって黒い雨ばらばら降った。黒の灰を泥にしたような泥雨だった。 1、2時間して11時ごろ紙切れ、ソギ板焼けた紙片、紙幣、債券などがたくさん降ってきた。古江のほうからきた。	うなぎが真っ黒に、酔ったようにひよろひよろしていた。	氏談 氏談
105	90-91	石内村湯戸 (西北西8km)	光って二重に輪を描いた中に赤いような物が広がるのを見た。3秒も数えるくらい後に爆風がきて、大きな音がしてから紙片、ソギ板、電報、郵便局紙片などが降ってきた。綿片も落ちたが皆燃えかけていた。 光ってから30分くらいして雨が降り出した。雨は真っ黒く、襦袢などは眞黒くなった。はじめ小粒の雨でしまいには大粒の雨がどンドン降った。雨は、午前にはやんだ。出水で川の水は真っ黒になった。	ギギウ(ナマズに似た魚の方言)が浮いていた。	氏談
106	91	石内村湯戸東端 (西北西8km)	眼前にマグネシウムを焚いたような感じ、向こうを見ると山の上に真っ黒い煙が立っていた。 光って30分くらいして黒い雨が降り出し、ザーザー降り大きな川(八幡川)の水が真っ黒になった。芋の葉の上に真っ黒いコールタールを流したような点々が残った(油かながか混じったよう)。雨は11時くらいまで降った。午後からは天気が良かった。 ソギ板の焼け残り、紙、名刺、お経の本、紙幣、帳簿などがたくさん落ちてきた。	黒い雨のついた草を牛に食べさせたら皆腹を壊した。ウナギが死んで浮いていた。	氏談
	22	八幡川 (西8.5km)	八幡川に真っ黒い水が流れた。		
107	95	久地村瀬谷 (北西12km)	黒い小さい雨が30分~1時間くらい降って、紙、布片等降った。 久地村の奥も黒い雨が降ったがひどくはなかった。		
	41	戸山、久地 (北西13km)	一部で降ったであろう。		
108	95	飯室村古市 (北18km)	10分くらいばらばら雨が降った。紙片などは飛んでこなかった。		
109	96	山県郡安野村澄合 (北北西20km)	黒い小雨が降り、服に小さい斑点のようによごれが残る洗濯してもなかなか落ちなかった。雷鳴があった。 紙片、ソギ板などが飛んできた。		
110	96	同安野村宇佐 (北北西20km)	黒い小雨があり、雷鳴もあった。 武徳殿(県庁付近)の証書やソギ板などが飛来した。		
111	96	水内村久日市 (北西20km)	黒い小雨がバラバラ降り、油かと思った。30-60分降った。 50銭札の束などが飛んできた。		
112	96	殿賀村西調子 (北西26km)	大粒の雨がばらばら降った。雷鳴もした。 紙片が飛んできた。		
	83	四合(現・戸河内町)国民学校 (北西33km)	窓が真っ赤になって焼けた紙がたくさん河に落ちた。それを皆が「ピラだー」と拾いました。		作文から抜粋
113	96	都谷村長笹 (北北西26km)	黒い色の小雨が降った。 ソギ板や小さい板片などが飛んできた。		
114		佐伯郡上水内村 (北西22km)	太陽光線を鏡で反射したように感じ、7~8分後爆風来。		

	46	砂谷村 (北西15km)	雨は降っていない。紙片などがたくさん落ちてきた。		
115		平良村(西南西 15km) 八幡村(西方 9km) 海田市(東北東 7km)	爆発とともに黒煙が上がり広島一帯を蔽った。		
F. 南東地区					
116		東雲町広島市工 業指導所 (南東3km)			職員談
IV. その他					
	25				白紙
	26			原爆被害は焼けガスを呑むこ とも含む。毒は薬にもなる。稲 への肥効がある。ただし突然 変異が問題だ。	宇田の感想を述べ ている。
	37				報告にまとめる際 の論考のあと等と 思われる。
	68				白紙
	88				白紙